

文部科学大臣杯・国土交通大臣杯
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2022 実施報告書

実行委員長 佐藤 公俊
(一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟理事)

はじめに

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会は、全国の連盟登録ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラー達が一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合いその向上を図るとともに、海外チームとの交流により国内ジュニアセーラー達が国際感覚を磨き、その視野をひろげ、また地元地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙普及させて、生涯スポーツとしてのヨットの発展に貢献することを期して当連盟が主催して毎年実施しています。

本競技会は文部科学大臣杯、国土交通大臣杯が授与される国内唯一の大臣杯タイトルレースです。また一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下 JJYU）の名称、設立趣旨にもありますようにクラブとして参加頂いて、クラブ対抗レースの上位クラブには連盟の主催する海外セーリング研修参加資格を授与するという会長特別賞を設けており、ジュニアヨットの普及とクラブ同士の親睦、そして国際交流を目的に開催する競技会です。

コロナウィルス感染拡大により 2020 年、2021 年競技会が中止となり、本年は 3 年ぶりの開催となりましたが、海外から招待のオーストラリア・ニュージーランド・アメリカ・イギリス 4 チームと国内は岩手県から沖縄県までの 7 クラブを迎えて、8 月 5 日から 7 日、東京都若洲海浜公園ヨット訓練所にて開催しました。

競技会前のコロナウィルス感染再拡大により開会式・交際交流会・閉会式を直前に中止して、選手・指導者・父兄・役員が集まる場面を極力避ける事としました。さらに競技会参加者全員による携帯電話ラインオープンチャットを使用して、競技会期間中の体温測定集計、出艇・帰着等申告、レース結果報告を行うことにより、徹底した感染対策を実施しました。

コロナウィルス感染再拡大により選手・指導者・父兄・役員に参加辞退者が出ましたが、海外 4 チーム・国内 7 チームの選手 51 名、指導者・父兄 69 名を迎え、運営役員 50 名を合わせて総勢 170 名の規模となりました。競技会期間中は感染発症・事故等もなく無事競技会を終了する事ができました。

練習会

競技会に備え 8 月 5 日は練習会としてトライアルレースを実施し A・B 海面にてそれぞれで運営体制の確認を行い本レースに備えました。風も安定しており、チャーター艇での練習としてもよい機会でした。



東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所



オーストラリアチーム



ニュージーランドチーム



アメリカチーム



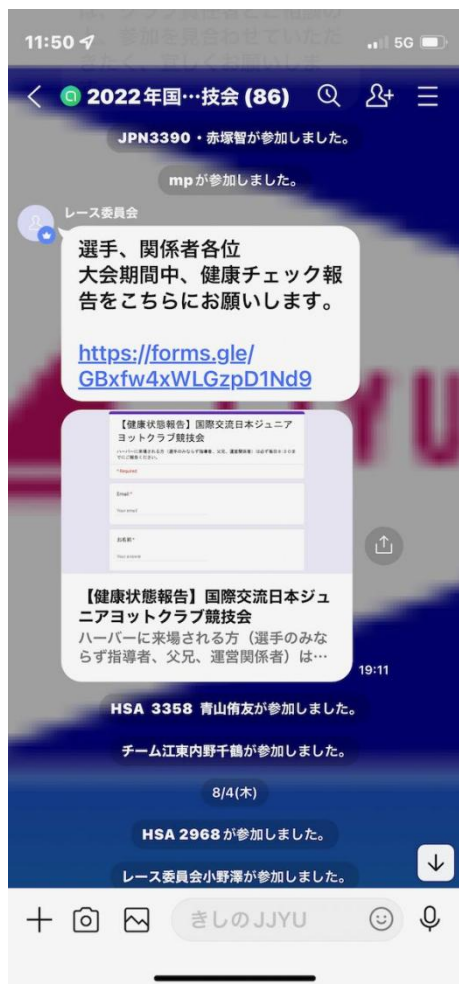
イギリスチーム



岩手県のみやこジュニアヨットセーリングクラブ



沖縄の宜野湾はごろも海洋少年団



ラインオープンチャット



練習会風景



練習会風景

開会式

コロナウィルス感染再拡大により競技会直前に中止を決定しました。

国際交流会

コロナウィルス感染再拡大により競技会直前に中止を決定しました。

A 海面のレース状況

A 海面では、OP 級上級者クラスに 9 クラブから 31 名の選手が参加し、レーザー4.7 クラスには 2 クラブから 2 名の選手が参加しました。

初日の6日は、2日前の大雨の影響で荒川の流れが強い中、風力は4knot～6knotの弱風であったが、午前9時には全艇が出艇しました。葛飾の三枚州の沖合にレースコースを設定し、南東の弱い風の中、レーザー4.7クラスが10時26分、OP級上級者クラスは10時32分に第1レースがスタートしました。

途中、風向が小さく変わりましたが、無事に第1レースは実施することができました。

引き続き第2レースを行い、南東から同様の弱い風の中スタートしましたが、徐々に南からの風に変化をしながら風が弱まってきました。その中で、選手は風の吹き出しを探しながらコースを帆走して全艇がフィニッシュすることができました。

昼食を挟んで午後第3レースを実施する頃には風が2knot～3knotに落ちてしまい、レース実施基準以下となりました。しばらく風の吹き出しを待ちましたが、これ以降のレースは無理と判断して午後3時過ぎには運営艇で参加艇を曳航してハーバーに帰着しました。

2日目の7日は、レースエリアの三枚州沖には朝からまったく風がなく12時まで出艇をせずに待ちましたが、結局レースを実施するような風が吹かないと判断し、ノーレースにしました。

2日間ともに、猛暑の中風が弱く、結果2レースのみの実施でしたが、選手は自分の技術を駆使して風を探しながらフィニッシュを目指しましたので満足したようでした。



運営ミーティング



朝の荷（艇）下ろし



艀装風景





受付



出艇



レース海面まで曳航



本部船



第1レースのスタート



1上トップ艇



1上のマークアプローチ



上からサイドへ



サイドマーク



フィニッシュの攻防



レーザー4.7のスタート



上マーク回航



コーチボートの外国チームコーチ



東京ウォータータクシーで観戦する保護者の皆さん

B 海面のレース状況

OP 級初級者の参加は 18 名で、うち 3 艇がチャーター艇でした。選手年齢は小 4・9 名、小 5・2 名、小 6・4 名、中 1・2 名、中 2・1 名（男 8 名・女 10 名）。

スケジュールとしては初日に受付け、午後から練習会を実施。2 日目は予選レース，3 日目は、予選 9 位から 18 位までの 10 名のシルバークラスで 2 レースを行い、上位 3 名を予選 1 位から 8 位までの上位 8 名に加えて 11 名によるゴールドクラスの決勝レースが行われました。レース海面は若洲ヨット訓練所前ポンド内で風が弱い中でのレースとなりましたが、どうにか決勝レースまで行うことができました。年齢差があったものの白熱したレース展開となりました。コロナ禍の為大声での応援は控えめでしたが、皆さん岸壁から熱心に応援していました。



B 海面のレース説明



シルバークラスレースのスタート



上マーク回航



上からサイドへ



ゴールドクラスレースのスタート



上マーク回航



下マーク回航



フィニッシュ！



陸上からの声援

海外招待チームの状況

8月5日練習会前に海外チームへチャーター艇を抽選で提供。コーチ・父兄とテクニカル・チャーター艇委員がチャーター艇備品をチェックして、各選手はそれぞれ艀装を開始しました。

8月6日のレースではコーチボートに乗船した海外チームコーチ6名が、レース前とフィニッシュ後に海外選手へのアドバイスや水分補給を行っていました。また父兄はレース当日に協賛頂いた東京ウォータータクシー観覧船で海外選手のセーリングを観戦、当競技会を非常に楽しんでいました。

医療救護部 総括

今年の競技会はコロナウィルス蔓延中での開催となりましたが、コロナウィルス感染防止のためマスク着用の徹底、密を避けることを行い、役員は大会開始前に新型コロナウィルス抗原検査キットを配布し陰性を確認して競技会を開催しました。競技会期間中は気温も涼しく、熱中症になった選手もなく安全に競技会を開催できたと思います。

閉会式

コロナウィルス感染再拡大により競技会直前に中止を決定しました。レース成績結果は集計後ラインオープンチャットに掲載して、賞杯・メダルは入賞者へ個別に手交しました。賞状については時間がないために後日入賞者へ郵送する事になりました。

主な成績

1.JJYU 特別表彰

①小澤吉太郎特別賞 対象者なし

②団体表彰 国内クラブ対抗レースの上位3クラブに JJYU 主催の海外セーリング研修参加資格を授与し、海外渡航費の一部を援助します。

第1位 JJYU 会長杯	葉山町セーリング協会	(クラブ代表 青山義弘氏)
第2位 JJYU 会長盾	江東区立小中学校セーリング部	(クラブ代表 浜崎濠次郎氏)
第3位 JJYU 会長盾	夢の島ヨットクラブ	(クラブ代表 三浦隆弘氏)

2.個人表彰

①OP 級上級者

第1位 特別表彰として競技会の冠たる文部科学大臣杯と賞状、JJYU 会長賞状と金メダル
青山 侑友 葉山町セーリング協会

- 第2位 池田 ななみ 江東区立小中学校セーリング部
- 第3位 實松 莉歩 江東区立小中学校セーリング部
- 第4位 三浦 太輝 夢の島ヨットクラブ
- 第5位 須永 言葉 夢の島ヨットクラブ
- 第6位 小林 和奏 江東区立小中学校セーリング部

②OP 級初級者

- 第1位 特別表彰として競技会の冠たる国土交通大臣杯と賞状、JJYU 会長賞状と金メダル
平澤 海翔 江東区立小中学校セーリング部
- 第2位 石井 奏里 葉山町セーリング協会
- 第3位 牧野 紗奈 葉山町セーリング協会
- 第4位 内田 有希 葉山町セーリング協会
- 第5位 今井 晴也 葉山町セーリング協会
- 第6位 込山 あかり 江東区立小中学校セーリング部

③レーザー4.7

- 第1位 特別表彰として江東区長杯と賞状、JJYU 会長賞状と金メダル
水木 海治 みやこジュニアヨットセーリングクラブ

3.国際交流個人表彰

①海外選手が参加する種目において国内外を問わず1位から3位まで JJYU 会長賞状とメダル授与

OP 級上級者

- 第1位 青山 侑友 葉山町セーリング協会
- 第2位 池田 ななみ 江東区立小中学校セーリング部
- 第3位 實松 莉歩 江東区立小中学校セーリング部

レーザー4.7

- 第1位 Fedor Alfimov Royal Perth Yacht Club オーストラリア
- 第2位 水木 海治 みやこジュニアヨットセーリングクラブ

②海外選手の中での最高順位選手に JJYU 会長特別賞杯と賞状授与

- OP 級上級者 吉田 慶胡 オスカー Royal Lymington Yacht Club イギリス
- レーザー4.7 Fedor Alfimov Royal Perth Yacht Club オーストラリア



国内クラブ対抗レース第1位 JJYU 会長杯 葉山町セーリング協会



OP 級上級者第 1 位 文部科学大臣杯 青山 侑友さん（葉山町セーリング協会）



OP 級初級者第 1 位 国土交通大臣杯 平澤 海翔さん（江東区立小中学校セーリング部）



国際交流個人表彰 レーザー4.7 第 1 位 Fedor Alfimov さん (Royal Perth Yacht Club オーストラリア)



国際交流個人表彰 海外選手の中での最高順位選手

OP 級上級者 吉田 慶胡 オスカーさん (Royal Lymington Yacht Club イギリス)